

ロバート・A・ニーメヤー (Robert A. Neimeyer)

メンフィス大学心理学部教授、同学部長。1982年ネブラスカ大学にて博士課程を修了後、死、グリーフ、喪失、自殺への介入といった問題について広範囲な研究を修めてきた。臨床家、雑誌『Death Studies』の主宰者、またワークショップの講演者として国際的にも幅広い活動をしている。



\* 死についての教育とグリーフ・カウンセリングの普及を目指す国際的な活動機関、Association for Death Education and Counseling の会長（1996-1997）、及び International Work Group on Death, Dying, and Bereavement の会長（2003-2005）を歴任。1997年American Psychological Association—終末期の問題を考える会—の責任者に抜擢される。教育者及び研究者としての功績が広く認められ、母校メンフィス大学をはじめ心理学や死生学関連の団体より数々の功労賞を受賞する。\*

主な著書に、*Meaning Reconstruction and the Experience of Loss* (American Psychological Association) 、*Lessons of Loss: A Guide to Coping* (Brunner Routledge) 、*Dying: Facing the Facts, and Treatment of Suicidal People* (Taylor & Francis) などがある。